

今月の題字は  
里町の木村有作さんの作品です。



ハートン



# なつかし縁日開催しました♪



～過去のなつかし縁日の様子～

## 主な内容

- ◆特集1 助け合いのまちをつくらう! …… 2・3
  - ◆特集2 介護予防ってなんだろう? …… 4
  - ◆これならわかる! ふくし …… 5
  - ◆平成24年度事業報告・決算報告 …… 6
  - ◆お知らせ …… 7・8
- 歳末激励品贈呈  
リフレッシュツアー  
介護者のつどい  
第30回安城市福祉まつり  
ふれあいマーケット・ボランティア募集  
子育て講演会  
ハルナフェスタ

## 『なつかし縁日』

総合福祉センター2階の安城なつかし学級でのイベント“なつかし縁日”を7月31日に行いました。毎年、水風船釣りや懐かしい遊びなどができ、地域の方々でとても賑わい今年も大盛況でした。4ページの特集では、安城なつかし学級についての紹介をします。みなさまお気軽に遊びに来てくださいね♪

'13 8/15 第53号

編集と発行/社会福祉法人 安城市社会福祉協議会  
〒446-0046 安城市赤松町大北 78 番地 4 (社会福祉会館内)  
TEL 0566 (77) 2941 ・ FAX 0566 (73) 0437  
E-mail syakyo@city.anjo.aichi.jp http://www.anjo-syakyo.or.jp/

## 第30回安城市福祉まつり

～みんなが創る  
ふくしのまち～

10月6日(日)に、総合福祉センター、社会福祉会館を会場として、福祉まつりを開催します。

今年は「みんなもつている つながる力 笑顔の力」をサブテーマとし、毎年好評のバザーや展示、体験コーナーもあります。

ふれあいマーケットの参加団体とまつりの運営にご協力いただけるボランティアを募集しています。ぜひ、ご応募ください。

申込み・問い合わせ▼

総務課事業係 ☎(77)2941

### ふれあいマーケット 出店者募集

出店を希望する団体を募集します。

日時▼10月6日(日)

午前9時～午後4時

会場▼総合福祉センター北側  
車庫用地20区画

参加条件▼①市内の福祉団体

②収益を福祉に活用  
③2つの条件を両方満たす団体に限ります

参加費▼無料

申込み期限▼8月21日(水)午後5時

### ボランティア募集

体験コーナーやバザーコーナーの運営をお手伝いしていただけるボランティアを募集します。

福祉まつりでのボランティア活動を通じて、さまざまな人との出会いや福祉体験を楽しんでみませんか?

対象▼中学生以上(ボランティア経験のない方も大歓迎)

日時▼10月6日(日)

午前8時30分～午後5時

申込み期限▼9月7日(土)午後5時

※当日の役割説明などをしますの  
で、説明会①か②のいずれかに必ず出席してください。

◎説明会①

日時▼9月21日(土)

午後3時～4時30分

場所▼社会福祉会館  
2階 講座室

◎説明会②

日時▼9月27日(金)

午後7時～8時30分

場所▼総合福祉センター  
3階 会議室4

### 子育て講演会

「私の子育て、これで良いのかな?」

障がいの有無に関わらず、子育ての不安を楽しみに変えてみませんか。そんな魅力あふれる講演会です。わかりやすい内容ですので、ぜひご参加ください。

日時▼10月31日(木)

午後1時～2時30分

場所▼社会福祉会館2階 講座室

対象▼子どもの発達を心配している、概ね小学校低学年までの子育てに関心のある保護者

講師▼市子ども課保育士3名

定員▼70名

参加費▼無料

※託児(無料)を希望される人は9月28日までにお申し込みください。

申込み方法▼参加申込み用紙を窓口またはFAXにて提出してください。

申込み・問い合わせ▼

ふれあいサービスセンター(社会福祉会館内)

☎(77)3121

FAX(73)0437

※申込み用紙は社会福祉会館及び市内福祉センター窓口で配布のほか、社協ウェブサイトからもダウンロードできます。

### ハルナフェスタ

社会福祉法人 聖清会主催



日時▼9月7日(土)

午前9時30分～午後3時

場所▼社会福祉法人聖清会 ハルナ中庭(桜井町咽首195番地)

内容▼

聖清会の施設である「障害者入所施設ハルナ」・「障害者通所施設ラニハルナ」・「児童養護施設なかよしこよし」・「ケアホーム若葉」の利用者・保護者のみなさま、地域の方々と一緒に参加するお祭りです。衣料品のバザーや、各種屋台有料、パフオーマンスが繰り広げられます。

施設の職員も楽しみにしており、みなさまに楽しんでいただけるよう準備しています。

申込み▼

当日、直接お越しください。

問い合わせ▼

社会福祉法人 聖清会 総務

☎(99)98800

9月28日(土)午後2時より文化センターマツパホールにて、福祉まつり30周年記念事業「佐野有美さん講演会」を行います!





# 助け合いのまちをつくろう！ 第3次地域福祉計画の策定 ①

住み慣れた地域で誰もがその人らしい安心して充実した生活が送れるような地域社会の実現のためには、地域の問題を行政だけでなく、地域の皆さんが自らの問題であると考え、主体的に関わっていくことが大切です。地域福祉計画は、地域における「新たな支え合い」を住民と行政の協働のもとに進め、地域福祉を推進していくための計画です。

今年度、市と社協では、平成20年度に策定した第2次地域福祉計画を見直し、第3次地域福祉計画の策定を進めています。

## 市民たすけあいフォーラムを開催しました

地域福祉計画の見直しにさきがけ、地域の助け合いの在り方を考え、計画策定及び地域福祉についての周知、意識の啓発を図るために、5月25日（土）、文化センターマツバホールで市民たすけあいフォーラムを開催しました。

当日は、「助け合いのまちをつくろう！～助けられ上手とお節介のススメ～」をテーマに、第1部では、住民福祉総合研究所代表の木原孝久氏による基調講演を、第2部では、「助け合いのまちはこのよう人たちでつくろう！」をテーマにリレートークを行いました。

### 地域福祉計画とは？

社会福祉法第107条に基づく行政計画です。地域住民の意見を十分に反映させ、策定します。安城市では、社協が策定する地域福祉活動計画の内容も含んで、市と社協と合同で策定を進めています。

また、策定に当たっては、地域の皆さんの声を反映させるため、町内福祉委員会を中心とした住民による「地域会議」と、ボランティア団体やNPO法人などの福祉関係団体や福祉事業者を中心とした「福祉関係団体・福祉事業者会議」を開催しています。

### 第1部 基調講演

助け合い型のお付き合いをめざして～あなたのお付き合いの流儀は？

木原孝久氏からは、「あなたのお付き合いの流儀は？」と次の10問の質問が出され、客席の皆さんに答えていただきました。

- ①自分や自分の家族のことは隠しておきたい
- ②自分のことが近所で噂されるのはイヤ
- ③人に助けを求めるのは苦手だ
- ④人に迷惑をかけることだけは絶対にしたくない
- ⑤人のことはなるべく詮索しないようにしている
- ⑥誰かが認知症だと気づいても、誰にも言わないようにしている
- ⑦困っている人にはお節介と言われたい程度に関わる
- ⑧引きこもるのにも事情があるから無理にこじあけるべきでない
- ⑨お互いのプライバシーは十分に尊重し合うべきだと思う
- ⑩隣人とはあまり深入りせず、ほどほどのおつき合いを心がけている



▲木原孝久氏による基調講演

皆さんはいくつ〇印が付きましたか？これは日本人のお付き合いの常識みたいなもので、平均的な日本人は7～9個の〇印が付くそうです。しかし、残念ながらこれでは助け合いが進まないそうです。

自分や家族の困りごとを隠していたら、まわりの人には分からない。分からなければ助け合いが始まりようがない訳で、**お互いが困っていることを言うことから助け合いは始まります。**助け合いは、助けられる側と助ける側が協力し合うことでできるのですが、今は助けられる側が助けほしいことを上手に発信できないことから、助ける側がどうにもできないことが多いのです。

「助け合い」は「助け合い」から助け合いが始まります。講演の最後には木原氏の声掛けで、「みんな「助け合い」の声を上げました。」

## 第2部 リレートーク

助け合いのまちはこのよう人たちでつくろう！

第2部では、「助け合い上手な人」の組の皆さんに順に登場してもらい、コーディネーターの木原孝久氏とやりとりをしていただきました。

「助け合い上手な人」「これは」「助けられ上手な人」と「助けられ上手な人」がいます。今回は両方の方に登場していただきました。



▲リレートーク登壇者の皆さんが最後に全員集合しました。

### ① 椎名 悦郎さん (ひとり暮らしの男性高齢者)

椎名さんは1年半前に奥さんを亡くし、ひとりで暮らしています。30年以上前から自宅でホームパーティーを開いたり、近くの畑で野菜作りや、玄関先の花づくりを、近所の方と楽しむことで、ひとりで暮らしている。近所の方に自然に見守られています。本人も意識しないほどの自然流「見守られ上手な人」です。

### ② 池田 佳子さん (認知症も「OK」の老人クラブの会長)

池田さんは認知症の実母の介護をしながら、老人クラブの会長として、認知症になったメンバーを老人ホームに入所した後もクラブの行事に招待したり、認知症になった人を新たにメンバーとして行事に誘うなど、自然に受け入れていきます。

彼女にしてみれば、これはごく当たり前のことだそうです。

### ③ 長澤 礼さん (発達障がいを持つ兄弟の母親)

長澤さんは発達障がいを持つ小学生の兄弟の母親で、長男が小学校に入学し登校の付き添いをするときに二男を地元町内会で預かってもらったことから、町内会と小学校の協力

で、スクールガイドのボランティアさんや近所の人を招いての懇談会を開催しました。

我が子の障がいを隠さず、オープンにすることで、理解者を一人でも増やしていくことが子どもたちのためになると考え、子ども会にも入会したそうです。

### ④ 高橋 成行さん (高齢者デイサービスセンター施設長)

高橋さんは高齢者デイサービスセンターの施設長さんです。利用者の認知症の女性を、週に1日はボランティアとして受け入れ、室内の掃除の後、地元の商店街のゴミ拾いを一緒に付き添っています。

最近では地元商店街の方にも理解の輪が広がり、お店の前を通った時にさりげなく見守ってもらっています。

### ⑤ 藤井 道恵さん 石川 則子さん (市営住宅の管理人と民生委員)

藤井さんは30数軒ある市営住宅の住人であり、また管理人として入居者のさまざまな困りごとに長年対応しています。市が定めている管理人の業務は、住宅の修繕部分の連絡や、不正使用の連絡などをする程度です。

が、気になぬことが出てきたら「放っておけない」と頼まれなくても動いてお世話をしています。

最近では民生委員の石川さんと二人三脚で、住宅内の要援護者のさまざまな困りごとに対応しています。

### ⑥ 藤野 千秋さん 神崎 保文さん (町内会長とひとり暮らしの男性)

藤野さんは、町内会長及び福祉委員代表として、支え合いマップづくりから浮かびあがってきたさまざまな困りごとに対応しています。

平成22年に支え合いマップづくりの中で確認した「独身息子と老親」の世帯の一人である神崎さんと、昨年の秋に出会った際に、父親が亡くなっていったことを知りました。ひとり暮らし高齢者の懇談会に誘ったところ、生活に困っていることを打ち明けられ、仕事探しや年金の手続きなどを手伝い、窮地を救いました。

今回のフォーラムで分かったことはまさに「福祉は人なり」です。登壇していただいた皆さんのように、自然体で無理なく活動されている方々を探し出し、盛り立てていくことで助け合いのまちづくりにつながっていくのではないかと感じています。



# これならわかる!



～障がいのある方の社会参加をめざして就労のお手伝いをしてくれるサービスを知っていますか?～

## ⇒就労移行支援事業です!

### ●就労移行支援事業ってなに?

一般企業への就職を希望する65歳未満の障がい者が、就労に向けた訓練を受けながら、就職活動のサポートを受けることができます。(期間は約2年間です)

就労移行支援事業所には、就職先との調整や利用者の指導を行う職員がいます。

### ●就労移行支援利用から就職までの流れ

#### ①就労に向けた訓練

- ・社会人としてのビジネスマナー  
基礎的な労働習慣の確立  
履歴書作成、面接練習  
言葉遣いや挨拶、身だしなみ等の習得



- ・作業訓練



市内の事業所ではこんな作業をしているよ!



提供：障害者職業支援センターくるくる



提供：つばめのす

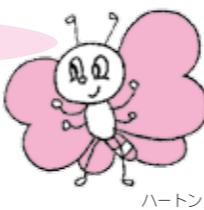


提供：アイエスエフネットライフ安城

- ・就職訓練  
職場見学・実習  
企業面接



いよいよ就職に向けて動き出すよ!



#### ②一人ひとりに合った就職先を探します

利用者の適性に合った職場探しを行います。

一般企業への就労のみでなく、作業をして賃金をもらう障害者就労施設も視野に入れて探します。

#### ③就職後のフォロー

就職が決まった人には、事業所の職員が定期的に職場訪問をして、就職後のフォローを行います。職場環境を整えたり、職場での人間関係の調整をしたりと、長く働けるように環境づくりのサポートをします。

就労移行支援事業を上手く活用して、自分に合った仕事を見つけて、長く続けられると良いね!

#### \*安城市内の就労移行支援事業所\* (平成25年8月現在)

障害者職業支援センターくるくる	☎(95)5777
つばめのす	☎(91)1621
アイエスエフネットライフ安城	☎(73)7605



## 特集2

いつまでも元気で暮らすために

# 介護予防ってなんだろう?

介護予防とは、介護を必要とする状態にならないために予防策を講じることです。安城市には様々な介護予防事業がありますが、社協では「安城なつかし学級」「頭もからだもスッキリ体夢」「からだ☆しゃっきり体夢」を実施しています。なつかし学級は、昔の学校教室を再現し、介護予防でありながら、楽しい時間割をつくってお待ちしています。ぜひご参加ください。

### 安城なつかし学級

#### 誰が利用できるの?

→市内在住で60歳以上の方なら、どなたでも利用できます。

#### 利用できる時間は?

→火曜日～土曜日の午前10時～正午、午後1時～4時

(祝日および月曜日が祝日の場合、その翌日はご利用いただけません)

#### どんなことをするの?

- ・「エンピツの時間」…脳トレのドリルを解きます。認知症予防に大好評!
- ・「工作の時間」……1時間程度で仕上がる作品を作ります。完成した時には歓声が!
- ・「歌の時間」……唱歌や懐メロを歌います。みんなで歌えば怖くない!
- ・「習字の時間」……上手、下手は関係なし。伸び伸びと筆を動かしましょう。この他にも楽しい行事がいっぱい!
- ・「いきいき凡凡」……認知症予防のための回想法スクールを年2回開校します。最終回にはみんなと仲良しに!(いきいき凡凡のみ、市内在住の70歳以上の方が対象で、別途申込みが必要です:定員10名)



総合福祉センター(赤松町)の2階にあります。事前申込不要です。

### 頭もからだもスッキリ体夢



総合、北部、西部、作野、桜井、中部の各福祉センターで実施しています。前半はストレッチを主にした体操を椅子に座って行います。後半は歌や回想法など、毎回メニューが変わりますのでお楽しみに!(安祥福祉センターでは10月18日から開催します)

### からだ☆しゃっきり体夢

総合、北部、西部、作野、桜井の各福祉センターで実施しています。リズム体操や軽度の筋力トレーニングなど、立って行う体操です。気持ちの良い汗を流しましょう!(安祥福祉センターでは10月25日から開催します)

※「頭もからだもスッキリ体夢」「からだ☆しゃっきり体夢」はいずれも、市内在住の60歳以上の方を対象としています。福祉センターによって開催日時が異なりますので、各福祉センター、又は下記にお問い合わせください。

【お問い合わせ:介護予防担当 TEL77-7888(総合福祉センター内)】



ハートンからの  
おしらせだよ！



## 歳末激励品贈呈

赤い羽根共同募金を財源として、歳末激励品の贈呈を行います。対象となる人は、お申し込みください。

### 対象

- ① 児童扶養手当受給者  
(例) 父又は母の死亡や離婚などでひとりの親家庭になった人、あるいは父又は母に重度の障がいがある人)
- ② 特別児童扶養手当受給者  
(例) 身体・知的発達又は精神に障がいのある児童を扶養する人)

### 注意

中学生までの子どもを養育する人に支給される「児童手当」のみを受給している人は対象となりません。

共同募金キャラクター  
愛ちゃんと希望くん



**激励品**▼  
サルビア商品券7千円相当

### 申請方法

申請書を10月31日(木)の午後5時15分までに窓口持参するか、郵送してください。

### 提出先

〒446-0046  
安城市赤松町大北78番地4  
安城市社会福祉協議会  
総務課事業係

※郵送の場合も10月31日(木)必着。余裕を持って投函してください。

※申請書は社会福祉会館及び市内福祉センター窓口で配布のほか、社協ウェブサイトからもダウンロードできます。

### 激励品配布時期

年末に民生委員がお届けします。

### 問い合わせ

総務課事業係 ☎(77)2941

## コンシェルジュ

自宅で介護をしているみなさま、ゆったりくつろいで、参加者同士おしゃべりを楽しみませんか。

### 日時

11月14日(木)  
午前8時30分～午後4時30分(予定)

### 行き先

南知多・源氏香(昼食・入浴)と網元直売魚太郎

### 対象

介護認定が要介護1以上の人を自宅で介護している人及びその家族・友人

### 定員

70名(先着順)

### 参加費

介護者 2千円  
家族・友人 3千円  
昼食代等込み

### 移動手段

市内指定場所からバスで移動



※この事業は赤い羽根共同募金を財源としています。

### 申込み・問い合わせ

総務課事業係 ☎(77)2941

## 介護者のニュース

地区社協では、介護者のリフレッシュと情報交換の場として、介護者のつどいを開催します。参加費・申込み不要です。介護をしている人、介護に関心のある人など、お気軽にご参加ください。

地区名	日時	場所	問い合わせ
西部	9月7日(土) 午後1時30分～3時30分	西部福祉センター 2階 集会室	西部地区社協 (西部福祉センター内) ☎72-6616
中部	9月12日(木) 午後1時30分～3時	中部福祉センター 1階 多目的室	中部地区社協 (中部福祉センター内) ☎76-0090
安祥	9月27日(金) 午後1時30分～3時30分	安祥福祉センター 2階 会議室	安祥地区社協 (安祥福祉センター内) ☎73-5757

# 平成24年度 安城市社会福祉協議会 事業報告・決算報告

東日本大震災における被災地の状況を踏まえ、誰もが地域で孤立することがないように、地域社会のつながりを強化する事業を展開しました。そして、災害時にも地域で安心して生活できるよう、日ごろから助け合い、支え合う地域社会の実現に向けて積極的な支援を行いました。

## 事業報告

### ○地域見守り活動モデル事業拡大による包括的地域ケア体制の推進

町内福祉委員会を中心に実施している地域見守り活動モデル事業を、平成23年度の4地区から16地区へと拡大し、見守り体制づくりを一層進めました。また、関係機関や地域住民との連携を深めることにより、社協の調整役・相談機関としての役割を強化しました。

### ○次期地域福祉計画の策定に向けて市と協働で調査、分析を実施

地域福祉計画及び地域福祉活動計画が平成25年度に期間満了となることから、次期計画の策定に向けて、市と協働でアンケート調査を実施し、その分析を行いました。

### ○防災対策の強化

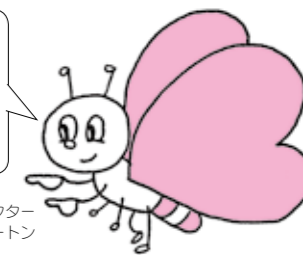
防災対策については、災害時における行動指針を策定するとともに、福祉避難所運営マニュアル及び災害ボランティアセンター運営マニュアルを整備し、体制強化に努めました。

### ○職員の資質向上と組織の活性化

経費の節約や人員配置等を効率的に行い、経常的経費の5%削減目標を達成するとともに、この過程で培った工夫を重ねる試みの定着化により、職員の資質向上と組織の活性化を図りました。

## 決算報告

収入は市からの受託金収入が約5.4億円と、約4割を占めています。また、支出の内訳のとおり、高齢者の福祉に関することに、半分以上の約6.6億円を計上しました。



安城市社協キャラクター  
ハートン

決算総額 **12億2,509万円**

